



## しものせき国際交流ねっと

本州の最西端に位置する下関市は、古くからアジアの玄関口として栄え、複数の国際定期フェリー航路で韓国、中国の各都市と結ばれるなど、国際都市として発展してきました。そこに住む私たちは、諸外国の人たちについて、どのくらい理解できているのでしょうか。

### 国際交流の場を提供

現在、市内には、大学に通う留学生、企業の実習生や日本人と結婚した人など、さまざまな理由で多くの外国人が訪れ、生活しています。下関で暮らす外国人と市民との交流の場を提供しているのが「しものせき国際交流ねっと」です。

### ケニアの子供たちとの交流

同会が発足するきっかけには「ケニアの子供たちとの交流」がありました。

ケニアでは小学校卒業時に試験

があり、その試験の結果で進路が決まってしまう。当時、中学校の英語教員をしていた代表の石井由利子さんは「山口ケニアを知る会」の活動を通して、ケニアの子供たちに励ましの手紙を書くことを授業で始めました。以来、ケニアの子供たちとの手紙交流は20年近く続いています。平成22年9月に開催した「アフリカンフェスタin下関」では、予想を上回る人が集まり、石井さんは、外国人との交流に関心のある人の多さを実感したそうです。

そこで、山口ケニアを知る会代表の高見早苗さんと、元JICA国際協力推進員の水野雅子さんとともに、平成23年6月「しものせき国際交流ねっと」を発足させました。

### 国際交流をもっと身近に

会では、外国人に甲冑・女官衣装の体験や源平ナイトin赤間などのイベントを案内する他、世界各国の家庭料理を通して、異文化理解を深める講座を年に数回開催しています。この講座の申し込みが定員を上回るようになると、もっと多くの人が参加できるイベントも開催しようと、平成25年1月に

は、外国人との会話を楽しみながら各国のお茶や菓子が味わえる「新春国際交流カフェ」を実施しました。今年1月12日に開催された2回目の同イベントでは、日本を含めた8カ国のブースが設置され、各国のファッションショーなども行われました。

「留学生や実習生には日本をよく知って、好きになって帰ってもraithたい。それと同時に日本人が彼らをもっと理解してほしい」と石井さん。生活習慣が異なるからこそ誤解することもあります。外国人と接する機会が増えれば理解し合えます。皆さんも国際交流をもっと身近に感じ、一歩踏み出してみてはいかがでしょうか。

### ★催しに参加してみませんか★

しものせき国際交流ねっと  
代表(☎090-20000652)

- ①国際交流カフェで司会をする石井代表
- ②甘くておいしいケニアのかゆ
- ③準備を終えた中国ブース
- ④客をもてなすスタッフ
- ⑤各国の衣装がお目見えしたファッションショー
- ⑥国際交流カフェ運営スタッフと参加者の皆さん

